

身だしなみと挨拶

「身だしなみ」とは

公器の企業人として人に不快感を与えないように言動や服装を整えること及びその心掛けである。それは**国際的に通用し、どの様な場面においてもそのままの状態でも出かけても適応でき、またその場にふさわしいTPOを考慮したものでなければならない。**

「挨拶」とは

- 人に会った時や別れるときなどに取り交わす礼に かなった動作や言葉
- 「ハイオアシス」で学ぶ基本動作

日本国内においては立礼、座礼を基本とし、外国においてはTPOを考慮して必要に応じ当該国のしきたり、慣習に従う。

立礼

会釈 : 社内でのすれ違いや顔見知りへの挨拶時等
相手の胸元から腰に視線、上体を15度程度に傾ける。
にこやかに、笑いかける様な雰囲気で行う。

廊下でのすれ違い、食堂の職員への挨拶等

敬礼 : 来客の出迎えや上司への挨拶時等
背筋を伸ばし、足下から1.5~2メートルのところに視線、上体を30度程度に傾ける。

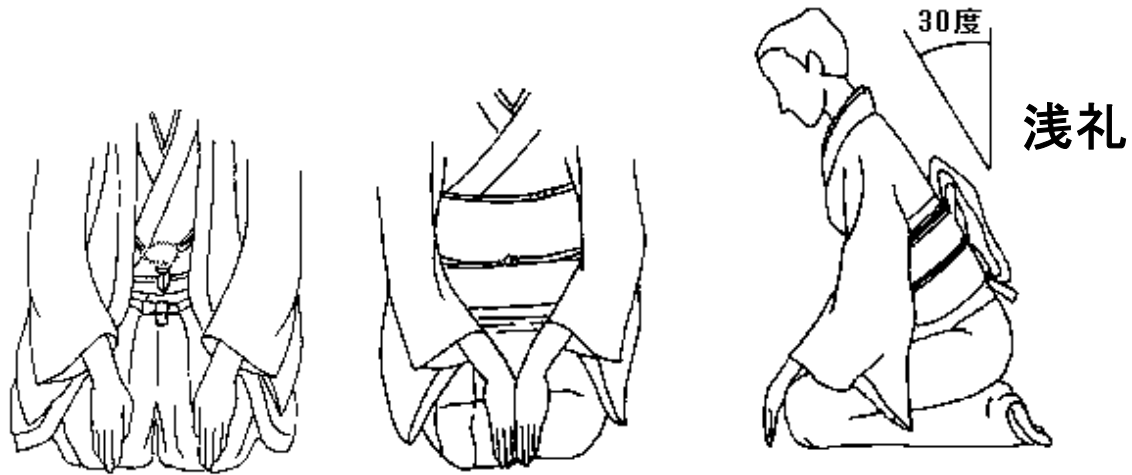
オアシスの動作、講堂、食堂等の出入り、リーダーへの報告時等

最敬礼 : 大事なお願いの際やお詫び・商談後の辞去の際等
背筋を伸ばし、足下1メートルのところに視線を落とし、上体を60度程度に傾ける。

指導を受けた場合、審査の申告・終了時等

座礼

浅礼、普通礼、最敬礼からなる。



普通礼



最敬礼



ハイオアシス

ハ 「はい」

イ 「いらっしゃいませ」

オ 「おはようございます」

ア 「ありがとうございました」

シ 「失礼します」

ス 「すみませんでした」

モ 「申し訳ございませんでした」

「入ります」

「いいえ」

「お疲れ様です」

「ありがとうございます」

「少々お待ちください」

「恐れ入ります」

「承知いたしました」

職場での挨拶

出勤時

「おはようございます」

外出時

「..(昼食等)に行って来ます」

「戻ってまいりました」

周囲の人が外出時

「行ってらっしゃい」

「お帰りなさい」

来客時

「いらっしゃいませ」

帰られる時「ありがとうございました」

退出時

「お先に失礼します」

受けた人「お疲れ様でした」

自分より先に帰る
目上の人に

「お疲れ様でした」

「挨拶」には全て意味がある。

例えば退出時の挨拶は、「今日の仕事は終了しました。これから帰ります。」
という報告を兼ねた挨拶